

特別支援学級 個別の指導計画 記入例

はじめに		P 1～2
記入例①	知的障がい（小学校）	P 3～5
記入例②	知的障がい（中学校）	P 6～9
記入例③	自閉症・情緒障がい（小学校）	P 10～11
記入例④	自閉症・情緒障がい（中学校）	P 12～13
記入例⑤	弱視 ※小学校の例	P 14～15
記入例⑥	難聴 ※中学校の例	P 16～17
記入例⑦	肢体不自由 ※小学校の例	P 18～19
記入例⑧	病弱 ※小学校の例	P 20～22

※記入例③～⑧は、知的障がいを併せ有さない（通常の学級に準ずる教育課程）場合の例を示しています。知的障がい以外の障がい種の学級で知的障がいを併せ有する児童生徒の場合は、記入例①、②も参考にしてください。

令和3年3月
福岡県教育委員会

はじめに

☆ 作成の目的

この「個別の指導計画 記入例」は、小・中・義務教育学校の特別支援学級における適切な教育課程の編成と一人一人の実態に応じた目標設定・指導・評価・改善のサイクルの実現を目指して作成しました。

また、特別支援学級担当者が、多様な障がい種の記入例を参照することで障がい種に応じた指導について理解を深めたり、各学校の全教員が特別支援学級の教育課程や特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の方法等について参考としたりするなど、特別支援教育に関する教員の専門性向上の一助となることを願って作成したものです。

☆ 基本的な考え方

- ・ この冊子に記載されている様式や各項目、記入内容などは、あくまでも例示です。各学校においては、本冊子の内容を参考に児童生徒の実態等に応じて工夫してください。（この様式は、福岡県教育委員会のホームページからダウンロードできます。）
- ・ 特別支援学級担当の先生は、自身の担任する学級の障がい種だけでなく、他の障がい種の記入例も参考にしてください。特に、知的障がい特別支援学級以外の障がい種の学級において、知的障がいを併せ有する児童生徒が在籍している場合は、記入例①、②を必ず確認してください。
- ・ この記入例は、各学期末の評価までがすべて記載された完成後のイメージです。よって、ここに記載されている程度の計画を最初から作成する必要は必ずしもありません。また、目標や支援を全て決定してからでないと指導・支援が実施できないのではありません。できるところから指導計画を作成し、支援を実施していくことが大切です。そして、各学期末までに評価を記入し、計画の完成を目指してください。
個別の指導計画は、日常的に加筆や見直しをしていくことが重要です。そして、実際に指導しながら、目標を焦点化したり、指導・支援の方法を具体化したりしていきます。まずは、実態把握を丁寧に行い、早期に作成に着手することから始めましょう。

☆ 記入例の見方・注意点

- (1) 各障がい種の記入例 1 ページ目上部に、「想定」としての児童生徒像を簡単に記載しています。
- (2) 「年間目標（重点目標）」は、教科等を問わず、将来の自立と社会参加に向けて、特に身に付けさせたい資質・能力から、目指す姿を記入しています。
- (3) 「教科等・場面」は、知的障がいの有無によって次のように作成しています。
【知的障がいがある場合】※記入例①、②
教育課程に位置付ける全ての教科 + 自立活動 + 生活上支援が必要な場面 を設定
 - ・ 教育課程に位置付ける教科等（自立活動を含む）を全て設定しています。
 - ・ 各教科等を合わせた指導（生活単元学習、日常生活の指導、遊びの指導、作業学習など）は、各教科の「指導・支援の方法」の中に指導形態の一種として挿入する場合（記入例①）と項目として設定する場合（記入例②）を両方とも例示しています。

※特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小・中学部）p.35では、「各教科等を合わせた指導を行う場合においても、各教科の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが必要である。」と示されており、記入例①のように、「基になる各教科に準拠して評価する」ことが基本となります。ただし、各教科等を合わせた指導を指導場面の一つとして捉える場合は、記入例②のように「各教科等を合わせた指導」の項目を作成し、「基になる各教科の目標に準拠した観点で評価する」こともできます。

- ・生活上支援が必要な場面（給食時間など）も項目として設定しています。

【知的障がいがない場合】※記入例③～⑧

個に応じた目標設定が必要な教科等＋**自立活動**＋**生活上支援が必要な場面**を設定

- ・自立活動と生活上支援が必要な場面（給食時間など）を設定しています。
- ・各教科等については、児童生徒の困難さから、基本的に通常の学級とは異なる個に応じた目標設定が必要な教科等がある場合を設定しています。

(4) 「学期の目標」については、次のように作成しています。

- ・各教科の項目（道徳科を除く）は、資質・能力の3つの柱である、知「知識及び技能」、思「思考力・判断力・表現力等」、学「学びに向かう力、人間性等」の観点から設定しています。
- ・各教科の目標は、3観点全てを記載した例を示しました（3観点での評価を意識できるため）。ただし、知的障がいがない場合（記入例③～⑧）において、通常の学級と目標が同じ観点がある場合は、3観点全てを書かないこともできます。
- ・各教科（道徳科を除く）の目標を具体的に設定する際には、学期全体を通して達成させたい姿として設定する場合と、その学期に学習する単元の目標から学年目標（重点目標）につながる目標等を選択して設定する場合を教科の特性や、個別の実態に応じて例示しています。
- ・道徳科、自立活動及び生活上支援が必要な場面（給食時間など）については、優先度の高い順に①、②…と目標を設定しています（3観点での評価はしません。）。

(5) 「指導・支援の方法」については、学期目標を達成するために行う手立てを記載しています。その際、目標の1観点に対して、必ず1つの指導・支援の方法とは限らず、例えば、教科の目標3観点に対し、2点又は4点以上書いている例も記載しました。

(6) 「目標の達成度・支援の評価」は、次のように作成しました。

- ・学期目標に設定した観点からの評価を記載しています。その際、例えば「知思」など、2つ以上の観点をまとめて評価する場合も例示しました。
- ・達成度を◎、○、△で表記しました。その際、具体的な姿を記述するとともに、△の個所は、「支援の改善」又は「目標の見直し」を教師の立場から記載しました。

記入例①

〔様式例3〕 ※特別支援学級用

個別の指導計画

5年 組 児童生徒名：○○
〔障がい種：知的障がい〕 (担任：)

想定 (小学校5年生)

※2年生程度の学習を中心とする知的障がいの児童

※交流学級での学習

社会、理科、音楽、図画工作、家庭科、外国語、
体育、特活、総合の中から、体験的な活動を中心
に参加

※各教科等を合わせた指導として、生活単元学習を
設定

年間目標 (重点目標)	○ 2年生で習う漢字の読み書きと計算を習得し、使うことができる。 ○ 身の回りの整理整頓を自分の力で取り組むことができる。 ○ 困った時に周りの人に伝えることができる。		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
国語	知：3～4語文を書くことができる。 思：写真等を手掛かりに伝えたいことを思い浮かべることができる。 学：分からない漢字をPC等を使って、進んで調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 3語文から始め、少しずつ文を長くする。 経験したことを振り返ることができるような写真等を用意する。 書いた文は教師と一緒に見直す。 生活単元学習で文を書く場面を設定する。 	知：達成度○ ※主語が決まるとスムーズに書くことができた。 思：達成度△ ※文に表すための言葉カードが必要。 学：達成度○ ※PC活用は意欲向上に有効。
社会	知：地域の産業の働きを知ることができる。 思：産業と自分の生活との関連を、教師と一緒に考えることができる。 学：身近な社会に関心をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 理解を促すために、社会科見学や動画視聴等の活動を設定する。 新聞やインターネット等の記事を提示し、自分の生活との関連に気付かせる。 生活単元学習で身近な社会に関心をもつことができるような場面を設定する。 	知：達成度○ ※地域の産業の名称と働きを知ることができた。 思：達成度△ ※産業と自分の生活との関連を考えるために、視覚的に分かりやすい情報の提示の工夫が必要。 学：達成度○ ※TVのCM提示が効果的。
算数	知：九九を覚えてかけ算で計算することができる。 思：具体物を使ってかけ算の仕方を考えることができる。 学：かけ算を使える場面を探すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて九九の歌や九九表を活用させる。 かけ算を1つ覚えるごとにスタンプを押し、到達度を視覚化する。 ブロックやおはじき等、様々な具体物を準備する。 生活単元学習でかけ算を使う場面を設定する。 	知：達成度○ ※7の段は九九表が手元があれば計算できた。 思：達成度○ ※具体物を使えば間違えずに考えることができた。 学：達成度○ ※教師の促しでかけ算を使うことに気付くことができた。
理科	知：観察、実験等に関する初歩的な技能を身に付けることができる。 思：気候や物質の変化について、教師と一緒に調べることができる。 学：気候や物質の変化に関心をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 観察の視点をチェックリストで示す。 実験の手順をスライドで1つずつ視覚的に示す。 インターネットの検索機能や動画を活用する。 生活単元学習で植物等を観察する場面を設定する。 	知：達成度△ ※観察、実験は実施できたが、安全面での補助は必要。 思：達成度○ ※インターネットを使えば自分で調べることができた。 学：達成度○ ※動画視聴は関心を高めるために有効だった。

音楽	<p>知：リズム譜を使ってリズム打ちができる。</p> <p>思：リズムの強弱等の工夫を考えることができる。</p> <p>学：友達と協働して演奏することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音符と休符の長さを「タン」「タ」「ウン」等の音で示す。 ・ 演奏しやすいように、リズムを一部変更する。 ・ 強弱の違いに気付くことができるように、教師がモデルを示す。 	<p>知：達成度◎</p> <p>※リズム譜を見て演奏できるようになった。</p> <p>思：達成度◎</p> <p>※モデルを示すと強弱の違いに気付くことができた。</p> <p>学：達成度○</p> <p>※手拍子があればテンポに合わせる事ができた。</p>
図画工作	<p>知：表したいことに合わせて材料や用具を選んで表現を工夫できる。</p> <p>思：表したいことをどのように表すか考え、発想を広げることができる。</p> <p>学：つくりだす喜びを味わうことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発想を広げるために、つぶやきを受け止めて、「○○してみてはどうか。」などとアドバイスをする。 ・ はさみ等の用具は、安全な扱い方を事前に確認する。 	<p>知：達成度○</p> <p>※自分の表したいことを表現することはできた。用具の扱いは支援が必要。</p> <p>思：達成度○</p> <p>※具体例を示すと発想を広げることができた。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※楽しみながら製作する姿が見られた。</p>
家庭科	<p>知：調理や製作の仕方を知ることができる。</p> <p>思：調理や製作にふさわしい内容を考えることができる。</p> <p>学：調理や製作に進んで取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理や製作の流れを手順カードで示す。 ・ 包丁やミシン等を扱う際は手を添えて補助する。 ・ 具体例を提示し、その中から選べるようにする。 ・ 生活単元学習で製作する場面を設定する。 	<p>知：達成度○</p> <p>※実習の際は手元に注目するような声かけが必要。</p> <p>思：達成度◎</p> <p>※具体例を示すと自分で考えることができた。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※興味のある活動だったので意欲的に取り組めた。</p>
体育	<p>知：友達の動きを見て基本的な動きを身に付けることができる。</p> <p>思：自分の動きの課題点と改善点に気付くことができる。</p> <p>学：友達と一緒に意欲的に活動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボディイメージを高められるように、準備体操として模倣運動を行う。 ・ 注目してほしい手足の動きを事前に伝える。 ・ 跳び箱やマット運動では個別に支援する。 ・ 用具の準備と片づけは友達と協力するよう促す。 	<p>知：達成度◎</p> <p>※友達の動きを見ながら器械運動に取り組めた。</p> <p>思：達成度△</p> <p>※3学期は動画撮影し、自分と友達の動きを見比べさせる。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※友達と仲よく活動する姿が見られた。</p>
外国語	<p>知：伝えたいことを単語や身振りで伝えることができる。</p> <p>思：伝えたいことを絵カードの中から選ぶことができる。</p> <p>学：外国語を使ったコミュニケーションを楽しむことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して話せるように、伝えたいことを教師が代わりに言ってみせたり、手掛かりとなる絵カード等を用意したりする。 ・ 話が伝わったことを実感できるように、話しているときはうなずきながら聞くようにする。 	<p>知：達成度◎</p> <p>※教師による演示を見て伝え方をイメージし、安心して伝えることができた。</p> <p>思：達成度◎</p> <p>※絵カードの選択は表現を広げるために有効だった。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※照れずに積極的にコミュニケーションができた。</p>
道徳科	<p>① 気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣いができる。(礼儀)</p> <p>② 誰に対しても同じ態度で接することができる。(公正、公平、社会主義)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や丁寧な言葉遣いの大切さ、相手の気持ちに気付かせるために、役割演技をする。 ・ 生活単元学習の中で挨拶や丁寧な言葉遣い等を必要とする場面を設定する。 	<p>①②：達成度○</p> <p>※役割演技を通して相手の気持ちに気付くことができた。自発的に挨拶や丁寧な言葉遣いをしたり、公平な接し方をしたりする姿が見られるようになった。</p>

総合的な学習	<p>知：地域の自然を守るための人々の取組と方法について理解することができる。</p> <p>思：地域の自然を守るための方法を教師と一緒に考えることができる。</p> <p>学：地域の自然を守るための活動に進んで取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 得られた情報をまとめるための手順表を用意する。 学習の振り返りを促すために、学習してきた内容や文章をイラストや写真等で視覚的に示す。 自分の考えを安心して発表できるように、ICT機器を活用させる。 	<p>知：達成度○ ※地域の自然を守るための方法を理解できた。</p> <p>思：達成度◎ ※地域の自然を守るためのよりよい方法を教師と一緒に考えることができた。</p> <p>学：達成度○ ※友達と一緒に調べ学習に取り組むことができた。</p>
特別活動	<p>知：委員会活動において自分の役割を果たすことができる。</p> <p>思：学校生活をよりよくするための工夫を考えることができる。</p> <p>学：計画に沿って友達と協力しながら活動できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や日時を一覧表にまとめて視覚的に示す。 話し合いにスムーズに参加できるように、発言や質問の仕方を事前に指導する。 活動への意欲を高めるために頑張りカードを用意する。 	<p>知：達成度○ ※一覧表が効果的。活動を忘れることが少なくなった。</p> <p>思：達成度○ ※少しずつ話し合いに参加できるようになった。</p> <p>学：達成度△ ※活動に遅れがちだったので、3学期は交流学級の友達に声かけの協力をしてもらう。</p>
自立活動	<p>① 困った時に、教師の促しを受けて周りの人に伝えることができる。</p> <p>② 不安を軽減する方法を身に付けることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 困った時の伝え方を伝え、動作化する。生活単元学習の中等で困ったことを伝える場面を設定する。 相手にうまく伝えられた時にはすかさず褒める。 深呼吸をする、自分の胸をトントンと軽く叩く等の落ち着く方法を指導する。 	<p>①：達成度◎ ※教師の促しがなくても「手伝って」「教えて」と周りの人に伝えることができる場面が多く見られた。</p> <p>②：達成度○ ※慣れた友達の前では、教師がいなくても安心して過ごせるようになってきた。</p>
掃除時間	<p>① 手順表通りに最後まで掃除に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1つの手順を1枚のカードにする。1つの作業が終わるごとに手順カードをめくる。 掃除を終えたら教師に報告させる。 	<p>①：達成度○ ※手順カードは有効だったが、活動時間内に終わらないことがあった。3学期からはタイマーを併用する。</p>
給食時間	<p>① 自分の給食を配膳することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 配膳の前に、完成した配膳モデルを示す。 配膳の際は列に並んで順番を待つことも指導する。 	<p>①：達成度○ ※配膳の仕方を視覚的に示したことは有効だったが、全部そろっているかの確認は必要。</p>
交流学級での人間関係	<p>① 安心できる友達を増やし、一緒に活動するを楽しむことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の時間に、友達の誘い方や相づちの練習を行う。 交流学級と連携し、少人数での活動の場면을意図的に仕組んでもらう。 	<p>①：達成度○ ※1学期にあまり関わりのなかった友達とも一緒に活動する場面がみられるようになってきた。</p>

記入例②

〔様式例3〕 ※特別支援学級用

個別の指導計画 (

想定 (中学校2年生)

* 自閉傾向のある知的障がいの生徒

* 交流学級での学習 (一部特別支援学級で)

音楽、美術、技術家庭、体育、特活、給食

2年 かがやき1組 児童生徒名: ○○ ○○

〔障がい種: 知的障がい〕 (担任: □□ □□)

作成日: 令和○年 ○月 ○日

更新日: 令和○年○○月○○日

年間目標 (重点目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流学級の友達に自分の思いや考えを伝えながら、落ち着いて学習することができる。 ○ 自分の役割やしなければならないことを理解し、継続して取り組むことができる。 ○ 自分の特性について知り、その都度よりよい対処方法について考えることができる。 		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
国語	<p>知: 自然や季節の言葉に気を付けて俳句や短歌を音読・暗唱したり、作ったりすることができる。</p> <p>思: 俳句や短歌に詠まれた情景や場面の様子、詠み手の心情を想像することができる。</p> <p>学: 俳句や短歌のよさを感じながら、思いを表現しようとするすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活単元学習で季節毎の風物詩一覧表を作成する。 ・ 俳句や短歌の読み上げを録音して、リズムや間を確認する。 ・ 情景や場面を表す写真等と気持ちの表情図を一緒に掲示する。 ・ 詠んだ句に込めた思いを書き添えて廊下に掲示する。 	<p>知: 達成度○ ※リズムや間を確認して、俳句と短歌を2句ずつ暗唱することができた。</p> <p>思: 達成度△ ※表情図では表現しきれない複雑な心情の読み取りに支援が必要。</p> <p>学: 達成度◎ ※テーマに合った俳句を作り句に込めた願いを書き添えることができた。</p>
社会	<p>知: 都道府県の名前と分布図の特徴を読み取ることができる。</p> <p>思: 2つ以上の要素を関連させて、都道府県の特徴を表現することができる。</p> <p>学: テーマを決めて、データを集めて都道府県の特徴を知ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地名パズルとテーマごとの分布図を提示する。 ・ 県の特徴を考えた時と同じように全国の特徴も捉えるよう言葉掛けする。 ・ インターネットの検索の仕方を教える。 	<p>知: 達成度○ ※40の都道府県名を覚え、航空地図から平地と山地を読み取ることができた。</p> <p>思: 達成度◎ ※交通網と人口多少の関係に気づき特徴を発表できた。</p> <p>学: 達成度△ ※データを決めることが難しいので、テーマは提示する。</p>
数学	<p>知: 繰り上がり(下がり)のある時間の計算ができる。</p> <p>思: 所要時間や活動時間を考慮した出発・到着時刻を求めることができる。</p> <p>学: 校外学習の日程を考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活場面を想定した問題とワークシートを準備する。 ・ 絵図を用いて考えるよう言葉掛けする。 ・ 生活単元学習で最寄駅から電車を使って買い物に行く校外学習を設定する。 	<p>知思: 達成度○ ※絵図を基に目的地までの所要時間は、正確に計算することができた。到着時刻から逆算する場合の時間の繰り下がりについては、確認が必要であった。</p> <p>学: 達成度◎ ※電車の時刻に合わせた活動時間の設定ができた。</p>
理科	<p>知: 太陽が地面を温めるため日なたと日陰の気温が違ってくるのがわかる。</p> <p>思: 日なたと日陰の気温変化の共通点を表現することができる。</p> <p>学: 気温と地面の上昇温度と熱中症予防を関連付けることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日なたと日陰の気温と地面の温度を測定して記入する表やグラフを準備する。 ・ 気温に遅れて地面が暖まることをグラフの形に注目して考えるよう言葉掛けする。 	<p>知: 達成度◎ ※日光の当たり方で気温の違いがあることがわかった。</p> <p>思学: 達成度◎ ※温度差はあるが日なたも日陰も暖まり方が同じで、地面が最も暖まる14時頃の屋外活動の熱中症予防が必要だと考えることができた。</p>

音楽	<p>知：正しい音程で歌うことができる。</p> <p>思：歌詞の内容と拍の流れに応じた歌い方をすることができる。</p> <p>学：2部パートの響きを感じながら合唱を楽しむことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正しい音の高さが意識できるようパート別練習の時間を設ける。 歌詞に合わせた情景写真を掲示する。 合唱の録画を視聴し、パートの響きを確認できるようにする。 	<p>知：達成度◎</p> <p>※正しい音程で「夢の世界を」歌うことができた。</p> <p>思：達成度△</p> <p>※楽譜に速さと強弱記号を書き込む視覚的な支援が必要。</p> <p>学：達成度○</p> <p>※2部パートの部分で声量を上げ、意欲的に合唱に参加できた。</p>
美術	<p>知：絵と言葉の配置を工夫して描くことができる。</p> <p>思：絵手紙集を参考にして、表したい内容や言葉を考えることができる。</p> <p>学：作品に込められた思いに気づき、表現する楽しさを味わうことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 字体や大きさ、色や太さで印象が変わることがわかるサンプルを提示する。 絵手紙集の作品のよさを取り入れるよう言葉掛けする。 描きたいものの写真に文字を入れてイメージを確定するよう言葉掛けする。 	<p>知思：達成度◎</p> <p>※竹ペンで描いた部活のユニフォームに水彩絵の具で淡く色付けし、墨で力強く「チーム」と書き加えることができた。</p> <p>学：達成度○</p> <p>※友達の作品の絵と文字の組合せのおもしろさを感想として伝えることができた。</p>
保健体育	<p>知：球技の基本動作や技能を身に付けることができる。</p> <p>思：自分の課題を見付け、練習に取り組むことができる。</p> <p>学：失敗しても感情を乱さずに、最後まで楽しく運動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 球技は、ソフトバレーボールを使った4人制のバレーにする。 互いの苦手な動作を話し合う場面を設定する。 全員がボールに触って返すルールを設ける。 「ドンマイ」「ナイス」の掛け声を掛け合うよう言葉掛けする。 	<p>知：達成度○</p> <p>※サーブ、レシーブの失敗が少なくなってきた。</p> <p>思：達成度◎</p> <p>※アタックのタイミングを繰り返して練習することができた。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※友達からの指示や掛け声を聞きながら最後までゲームに参加することができた。</p>
技術・家庭	<p>知：衣服の役割と簡単な手入れの仕方がわかる。</p> <p>思：目的に応じてふさわしい衣服や着こなしがあることに気付くことができる。</p> <p>学：自分のサイズや好きな色柄を知り、目的に応じた服装を考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作業学習で作業着やエプロンの役割を確認し、汚れに応じた洗濯の仕方を写真入り手順表で示す。 和服や各職業のユニフォーム等の写真を準備する。 顔写真と衣料品カタログを準備する。 生活単元学習で衣服を買う校外学習を設定する。 	<p>知：達成度◎</p> <p>※作業着の泥汚れを手もみ洗いしてから洗濯機で洗うことができるようになった。</p> <p>思学：達成度○</p> <p>※カタログで体形に合うサイズと好きな色柄の服を選ぶことができた。校外学習で普段着用の縞模様の長袖Tシャツを購入することができた。</p>
外国語	<p>知：基本的な表現や語句が表す内容がわかる。</p> <p>思：伝えたい事柄を考え、基本的な表現や語句で伝え合うことができる。</p> <p>学：外国語を使って進んでコミュニケーションをすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活になじみのある単語を取り上げる。日常生活の時間に日付・曜日の語句を英語で確認する。 難しい表現や語句には、イラストや写真を添える。 難しい語句に振り仮名を振る。 A L Tとの学習機会を設定する。事前に質問の英文読みの練習をする。 	<p>知：達成度○</p> <p>※10までの数字、曜日、色の単語を覚えることができた。</p> <p>思：達成度○</p> <p>※基本の文型に尋ねたい内容の語句を入れて疑問文で尋ねることができた。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※自己紹介やビンゴゲームを通して自分からA L Tに関わるすることができた。</p>

道徳科	<p>① 友達と自分のよさを知り互いに発表することができる。(向上心 個性の伸長)</p> <p>② 充実した家庭生活を送るために自分ができることを考えることができる。(家庭生活の充実)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々なよさを表す文章を準備し、あてはまる人がいないか考えるよう促す。 家事の担当者を記入して偏りに気付かせるプリントを準備する。 	<p>①達成度○ ※よさを書いた文章を読んで友達と自分に貼り分けることができた。</p> <p>②達成度○ ※家事の偏りを解消するため手伝いをするを決めたが、実践はできていない。</p>
総合的な学習	<p>知：福祉事業所の定員や作業内容を調べる方法について理解することができる。</p> <p>思：調べた福祉事業所の情報から自分に合う体験先を考えることができる。</p> <p>学：実習に向けた活動に意欲的に取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の福祉事業所のパンフレットを準備する。 事業所を3つに決め、パンフレットの情報を一覧表に整理して比較しながら考えるよう言葉掛けする。 実習先決定までに行うことをフローチャート形式で示す。 	<p>知：達成度○ ※必要な情報に3色のマーカーを付けて、表に書き込むことができた。</p> <p>思：達成度○ ※送迎があり、作業班の経験を生かせる食品加工の事業所に決めることができた。</p> <p>学：達成度○ ※ICTを活用した情報収集に取り組ませていく。</p>
特別活動	<p>知：給食委員会の活動内容を知り、各自が役割を果たす大切さを理解することができる。</p> <p>思：給食をより楽しい時間にする工夫を考えることができる。</p> <p>学：見通しをもって積極的に活動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の生徒と給食放送の分担を決め、カレンダーに印を付けるよう促す。 放送原稿を分かち書きにし、漢字に振り仮名を振る。 放送原稿の音読の時間が足りないときは、家庭で練習することを促す。 	<p>知：達成度○ ※カレンダーに当番の印を付け、給食放送を忘れないようにすることができた。</p> <p>思：達成度○ ※給食クイズを行うことを提案することができた。</p> <p>学：達成度△ ※家庭での音読ができなかったため、学校で教師や友達と練習する時間を設ける。</p>
自立活動	<p>① 自分の思いを伝えながら、友達と協力してゲームに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 順番や役割のあるゲームを設定する。 リーダーを中心に話し合いの場面を設ける。 	<p>①達成度○ ※リーダーからの働き掛けに、自分がしたい順番や役割を伝えることができた。ボール運びでは、二人で棒の高さを合わせて運ぶことができるようになった。</p>
給食時間	<p>① 配膳の役割を果たすことができる。</p> <p>② 時間内に食べ終えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個数が決まったおかずの配膳を担当できるよう交流学級の生徒と事前に確認する。 会話が多ときは、食事に集中するよう同じ班の友達に言葉掛けを依頼する。 	<p>①達成度○ ※トングを使って数を間違えずに固形物の配膳ができた。</p> <p>②達成度○ ※言葉掛けがあると、時間内で食べ終えることが増えた。</p>
交流学級での人間関係	<p>① 落ち着いて学習に取り組むことができる。</p> <p>② トラブルの原因を考えて、望ましいかかわりについて考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級の座席は、前方で理解のある友達と同じ班になるよう配慮する。 日常生活の指導や自立活動の時間に、予想される場面ごとのトラブル対処法を一緒に考える場を設ける。 トラブルの発生が多い教科の担当と学習内容や支援の方法を事前に確認する。 	<p>①達成度○ ※班の友達とのかかわりが良好で、落ち着いて学習できる時間が増えた。</p> <p>②達成度△ ※保体や技術家庭で班構成が変わったときにトラブルが多かった。事前の対処法を確認して交流学級の授業に送り出す支援が必要。</p>

<p>日常生活の指導</p>	<p>① ハンカチを携帯して使用することができる。</p> <p>② 係活動（明日の予定の記入）に責任をもって取り組むことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭と連携してハンカチの携帯を促す。予備のハンカチを置いておく。 ・ 教科の持参物について早めに確認に行くよう言葉掛けする。 	<p>①達成度○ ※ハンカチの使用は定着したが、家からの持参を忘れる日が多い。</p> <p>②達成度○ ※給食後に各教科担当に授業内容と準備物を聞きに行くことができるようになった。</p>
<p>生活単元学習</p>	<p>① 校外学習で乗車券と品物を買う際、金額に見合う支払いができる。(数)</p> <p>② 時間を意識してスケジュールどおりに班の友達と行動することができる。(数自)</p> <p>③ 秋と冬の風物詩一覧表を作成することができる。(国理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100円、10円単位で概算し釣銭の少ない支払い方法を繰り返し練習する。 ・ アナログの腕時計を見ながら行動するよう促す。 ・ 「季節の図鑑」を参考に選び、文字やイラストの色や大きさを工夫するよう促す。 	<p>①達成度○ ※少し時間がかかったが落ち着いて金額に見合う支払いができた。</p> <p>②達成度○ ※日程メモを確認して班の友達に次の活動への早めの声掛けをしながら、一緒に行動することができた。</p> <p>③達成度○ ※動植物は月毎に均等に選び、細部まで丁寧に描くことができた。掲示に必要なイラストのコピーを自分から依頼することができた。</p>
<p>作業学習</p>	<p>① サツマイモの手入れ、収穫をすることができる。(理)</p> <p>② リサイクル封筒作りに集中して取り組むことができる。(自)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく行う作業は、イラストと文字で提示する。 ・ 担当を決めて流れ作業で封筒作りに取り組む。 ・ タイマーを活用して残りの作業時間が分かるようにする。 	<p>①達成度○ ※茎を引っ張りながら、芋を傷付けずに掘ることができた。食べている部分が根だと知ることができた。</p> <p>②達成度 ・ 3種類の型枠をバランスよく置いて型を取り、丁寧に切り取って、折り目を付けて、次の担当に渡すことができた。30分集中して取り組めるようになった。</p>

記入例③

〔様式例3〕 ※特別支援学級用

個別の指導計画

想定（小学校2年生）

*電車が大好きで、他者との社会的関係形成に困難さのある児童

*交流学級での学習（一部特別支援学級）

生活科、音楽、体育、図画工作、特活、道徳

2年 ひまわり学級	児童名：〇〇 〇〇	作成日：令和2年 5月 1日
〔障がい種：自閉症・情緒障がい〕（担任：□□ □□）		更新日：令和2年 7月20日

年間目標 (重点目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習や学校行事に落ち着いて参加できる。 ○ 自分の思いや考えを相手に正しく伝えるための表現方法を身に付け、相手とやり取りすることができる。 		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 週予定表を確認したり、カードを見たりしながら、落ち着いて学校行事に参加できる。 ② 簡単なルールのあるゲームの中で、ルールを守ることや負けたときの対処方法を身につける。 ③ 自分の思いや考えを伝えるための語彙を増やすとともに、単語カードや絵カード、シンボル等を活用しながら、相手の思いに気づいたり、自分の思いや考えを伝えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事では事前に写真を見せたり、事前体験の機会を設定したりする。 ・ 予定変更は、起こり得ることを示すとともに、変更は事前に視覚的に伝える。 ・ 興味関心のある話題を取り上げたロールプレイやゲームを設定する。 ・ 教師が思いや考えを言語化していくと共に、簡単な遊びやゲーム等でやり取りの楽しさを味わわせる。 ・ 単語カードや絵カード、シンボルを手がかりに、行動と感情を整理していく。 ・ カードは、関わる職員（支援員を含む）で共有し、いつでも提示できるようにしておく。 ・ 成長が見える評価表（ノート）を作成し、適宜価値付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 達成度◎ ※事前体験とイメージしやすい声掛けで健康診断に落ち着いて参加できた。 ②：達成度○ ※ゲームの中では、負けても拍手できるようになってきた。教科指導でも場面設定を行う。 ③：達成度○ ※絵カードや単語カードの中から自分の気持ちを選択することができるようになってきた。 ※家庭でも同様の絵カードを提示すると、気持ちを伝えることができたという保護者からの報告があった。 ※感情が高ぶってからのカード提示は有効ではなかった。2学期は、通常の学級でよく起こる場面を意図的に設定する。
国語	<p>知：語のまとまりに気をつけて、自分の担当場所を音読することができる。</p> <p>思：場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像できる。</p> <p>※通常の学級と同じ</p> <p>学：音読劇に取り組もうとする。（音読発表は交流学級でも実施）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章と挿絵を、段落ごとページ分けしたり、会話文を登場人物で色分けしたりすることで、意味理解の補助にする。 ・ 読みにくい語のまとまりにスラッシュを入れたり、色をつけたりする。 ・ 叙述をもとに、動作化させたり、挿絵とつないだりし、表情・口調・様子を具体的にイメージさせる。 	<p>知：達成度○ ※場を分けたら語のまとまりに気をつけながら読むことができた。</p> <p>思：達成度○ ※会話文の色分けや動作化をすることが有効であった。</p> <p>学：達成度◎ ※音読劇に楽しんで取り組むことができた。通常の学級でも自信を持って発表できた。</p>
算数	<p>知：時刻と時間のちがいや日・時・分・秒の関係がわかり、時計の針の動きをもとに、時刻や時間を求めることができる。</p> <p>※通常の学級と同じ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味を持って取り組めるように好きな電車の発着時刻と結びつけたり、1日の生活と関連付けたりする。 ・ 帯時計や模型時計、時間テープや動作化など、時刻 	<p>知：達成度△ ※時刻は正確に読めるようになってきた。時間については、継続指導が必要。</p> <p>思：達成度○ ※自分の日常生活での時刻や</p>

	<p>思：自分の日常生活の時刻や時間について教師と一緒に調べることができる。</p> <p>学：1日の生活時間に関心を持ち、自分から調べようとする。</p>	<p>と時間の違いを多様な方法でつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10秒当てゲーム等、時間の量感を育てるゲームを取り入れる（他教科や日常生活でも行う） 	<p>時間について、調べることができた。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※電車の発着時刻と、自分の生活時間を関連させ、意欲的に取り組めた。</p>
体育	<p>知：いろいろな方向に走ったり、タッチやバトンで受け渡しをして走ったり、低い障がい物を走り超えたりすることができる。</p> <p>※通常の学級と同じ</p> <p>思：自分でチャレンジしたい場を選ぶことができる。</p> <p>学：順番を守って活動し、負けたときに相手に拍手を送ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゲームや競技の方法を図や絵、手順カードを活用して視覚的に示す。 遊びに夢中になるような場の工夫を行うとともに、自己選択の機会を設定する。 △コーン・フープなどを活用しバトンの受け渡し場所や待つときの場所を示す。 事前に勝つことも負けることもあることを確認し、負けた時の気持ちの整理方法や拍手を練習する。（自立活動と関連させる） 	<p>知：達成度○</p> <p>※ジグザグ走りで体の切り替えがうまくなった。リレーでは、新聞紙バトンを使うとスタートがわかりやすい。</p> <p>思：達成度◎</p> <p>※興味を引くコース設定が有効であった。友達の真似をしながら3つの場にチャレンジすることができた。</p> <p>学：達成度△</p> <p>※場所を明確にしたことが有効。負けた時に拍手までには至っていない。自立活動で具体的場面設定を行う。</p>
給食	<p>① 食べられる量を自分でつぎ分けながら、苦手な食材を一口食べることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 空の食器を一人分用意し、食べられる量を自分で分けられるようにする。 無理強いすることなく自分で量の調整ができたこと、一口でも食べられたことを賞賛する。 	<p>①：達成度◎</p> <p>※自分で量を調整できることで給食に対する不安が軽減された。</p> <p>※できた経験の積み重ねにより、椎茸を三口食べられるようになった。</p>
朝の準備	<p>① 手順表を見ながら、時間内に鞆を片付けることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手順を示すカードを用意し、終わりを教師に報告させる。 ロッカーや靴箱等、持ち物を置く場所には、本人の好きな電車の統一シールを貼る。 	<p>①：達成度△</p> <p>※1年生から継続の電車シールは有効であった。交流学級で朝の準備を予定していたが、集中することが難しかったため、刺激の少ない特別支援学級で朝の準備を行い、交流学級に向かうように変更した。</p>
掃除	<p>① 掃除場所（学級前廊下）を理解して、音楽が終わるまでに掃除場所に行くことができる。</p> <p>② 手順書に示された自分の役割（箒・雑巾）を果たすことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 時間と場所を明確にし、音や視覚的サインで示す。（箒）箒の使い方のカードを準備するとともに、ゴミを集める場所に、テープで印をつける。（雑巾）壁タッチの回数（雑巾を壁につける回数）を決め、支援員と一緒に数えさせる。 	<p>①：達成度○</p> <p>※時間の声かけがまだ必要であるが場所を間違えることはなくなった。</p> <p>②：達成度◎</p> <p>※ゴミ集めの場所の印と壁タッチが有効だった。ぬれた雑巾が苦手だったため乾拭きに変更し、徐々に慣れさせた。</p>
交流学級での活動	<p>① 教師の話の最後まで聞き質問タイムに質問ができる。</p> <p>② 係活動で、一緒に活動することを楽しむ場面を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい指示の出し方や質問タイムのサインを確認しておく。 安心できる友達との場を意図的に仕組む。 よい面を発信する機会や場を意図的に設定する。 	<p>①：達成度◎</p> <p>※サインを見て質問できた。交流学級でも有効だった。</p> <p>②：達成度○</p> <p>※新聞係で電車のイラストを担当した。帰りの会で認められ笑顔が見られた。</p>

記入例④

想定（中学校1年生）

*選択性かん黙があり、活動の切り替え等に時間を必要とする生徒

*交流学級での学習（一部特別支援学級で）音楽、美術、技術家庭、保健体育、特活、道徳

〔様式例3〕※特別支援学級用

個別の指導計画（1学期）

1年 わかば学級	生徒名：○○ ○○	作成日：令和2年 5月 1日
〔障がい種：自閉症・情緒障がい〕（担任：□□ □□）		更新日：令和2年 7月20日

年間目標 (重点目標)	○ 学習場面で、選択等して意思表示することができる。 ○ 見通しをもって授業の始業に間に合うよう、授業準備や教室移動ができる。		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
自立活動	<p>① グループ活動の中で、他者の意図や相手の感情を類推できる。</p> <p>② 気持ちを表す表情イラストやカードを使用して意思の表出ができる。</p> <p>③ ICTの使い方を学び、多様な表出の方法を知ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の時間に、安心できる友人とのペア・グループでの活動設定を行い自信につなげる。 意思表示カードやHELPカードを準備・活用する。 場面設定をしてロールプレイを行う。 表出時のICTの活用の練習（タイピング）をする。 1週間、1日の時間割で見通しをもたせる。 	<p>①：達成度○ ※良好な人間関係のグループ設定が有効で、意志表出のタイミングが定着してきた。</p> <p>②：達成度△ ※2学期は、使用する場面を設定し、周囲のヘルプマークの理解とともに安心して過ごせるようにする。</p> <p>③：達成度○ ※自己紹介カードをWordで作成することができた。今後、月に1つ程度、ICTを活用して表現物を作成する。 ※スケジュール表で行事、時間割の見通し、体調管理を行うことができた。</p>
国語	<p>知：事象や行為、心情を表す語句を増やし、話や文章の中で使うことができる。 ※通常の学級と同じ。</p> <p>思：「話すこと」について、紹介等伝えたいことについては、タブレットを活用して行うことができる。 ※通常の学級と同じ。</p> <p>学：2週間に1冊程度、図書室で本を選び、読書に親しみ、読書記録をつけることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級担任と連携し、調べた内容や自分の考えについてICTを活用して表現する。 「春の詩づくり」ではタブレットで詩を作成し、交流学級で紹介する。 図書室利用の日時の確認、気持ちを表す表情シートの中から乾燥の言葉を選べるようにする。 	<p>知：達成度○ ※教科書を読んでわからない語句についてタブレットで調べることができた。</p> <p>思：達成度○ ※タブレットで詩を作成することができた。 ※自分の考え等をタブレットに入力する際、選択肢を複数準備しておく必要がある。</p> <p>学：達成度○ ※本を選ぶ際、司書のおすすりめも参考にし、人とのかわりを広げる。</p>
数学	<p>知：正の数と負の数について必要性和意味を理解し、四則計算ができる。 ※通常の学級と同じ。</p> <p>思：正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 ※通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数直線すごろくやランプを使って数学的活動をする。 身の回りで使われている負の数（温度、川の水位、標高等）でイメージをもちやすくする。 	<p>知：達成度○ ※数直線すごろくを使って、正の数と負の数について理解することができた。</p> <p>思学：達成度○ ※写真や動画が活用をイメージするのに有効であった。意思疎通のツールの改良が</p>

	<p>学：粘り強く問題に取り組み、数学を生活や学習に生かそうとすることができる。 ※通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 得意なイラストを描いてすごろくを作成し、親しい友達と交流する時間を設定する。 	必要。
保健体育	<p>知：リズムに乗って踊ることができる。 ※通常の学級と同じ。</p> <p>思：自己の課題を発見し、仲間と考えた創作ダンスを表現できる。 ※通常の学級と同じ。</p> <p>学：ダンスの楽しさや喜びを味わい、積極的に取り組む。 ※通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> DVDを視聴し、スモールステップでリズムに乗って体を動かす。(手の動き→足の動き→手足の連動) 自分ができそうなところから、全体の動きにあわせる。 自分の動きを動画で確認する。 ダンスのモデルとなる生徒が見えるところで踊れるよう位置の確認をする。 	<p>知：達成度△ ※リズムの拍子をとることはできたが、手足の連動が難しかった。静と動を意図的に設定する方法など改良が必要。</p> <p>思：達成度○ ※仲間の合図や動きにあわせ、部分的に全体の動きにあわせることができた。</p> <p>学：達成度◎ ※自分の課題目標を意識して取り組むことができた。</p>
交流学級での活動	<p>① 首を縦横に振るか、指さしで意思表示をすることができる。</p> <p>② チャイム席に間に合わなかった時は、カードを担当教師に見せ、一礼して席に着くことができる。</p> <p>③ めあて、まとめ、重要語句(下線部)をノートに書き、振り返りを表情イラストで選択することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の時間に伝言ゲームや、得意なイラストしりとりで時間を意識した意思表示の練習を行う。 交流学級と連携し、授業開始の参加方法を確認する。 板書をノートに書く量を調整するため、中心となる語句に下線を入れる。 	<p>①：達成度○ ※意思表示する回数が増えてきた。親しい友達と休み時間や場面での関わりを広げていく。</p> <p>②：達成度△ ※カードの活用が難しかったので、場面設定をして今後練習する。 ※間に合うための時間設定を1日の見通しをもたせる際に行うようにする。</p> <p>③：達成度△ ※板書を写真に撮り、書き写すところを丸囲みすることから取り組む。</p>
朝の会・帰りの会	<p>① 連絡帳に心と体の元気度数にチェックを入れることができる。</p> <p>② 自分の体調について、カードや指さしで意思表示することができる。</p> <p>③ 週行事・時間割で1週間、1日の見通しをもつことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> チェック項目を一緒に考え、連絡帳に設定する。 健康観察でカードを使って意思表示する。 朝の会・帰りの会で、1週間、1日の時間割を確認する。 帰りの会で、連絡帳とトークン表にチャイム席評価をする。 	<p>①②：達成度○ ※特別支援学級担任へは意思表示ができた。今後生徒からの健康観察で意思表示できるようにする。</p> <p>③：達成度○ ※移動教室用教科道具セットの準備を行うことで、見通しをもって活動ができた。 ※今後、急な時間割の変更は、静かなところで、1対1で事前に伝えるようにする。</p>
休み時間	<p>① 休み時間をどこで過ごすのか自己選択できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「わかば」か「交流」かを自己選択させ、時間割に掲示する。 移動教室の際、教室を出る時間をタイムタイマーで掲示する。 	<p>①：達成度◎ ※一日を見通して予定を立てることができるようになったので、今後は特別な行事の際のみにしていく。</p>
給食の時間	<p>① 時間内で食べられる量を自分で調節することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 準備・食事・片付けの時間をタイムタイマーで確認する。 	<p>①：達成度○ ※特別支援学級での準備がはやくなり、食べる時間の確保ができるようになった。</p>

記入例⑤

想定（小学校4年生）
 ＊視力0.1程度、単眼鏡を使用
 ＊知的障がいなし

〔様式例3〕 ※特別支援学級用

個別の指導計画（2学期）

4年 さくら学級 〔障がい種：弱視〕	児童名：○○ ○○ (担任：□□ □□)	作成日：令和3年 5月 1日 更新日：令和3年12月20日
-----------------------	-------------------------	----------------------------------

年間目標 (重点目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単眼鏡や ICT 機器を使用し、文字や形などを正確に捉える習慣を身に付ける。 ○ 教師や友達に対して、自分の考えや気持ちを伝えることができる。 ○ 交流学級での学習や集団活動では、予習を行うことで見通しをもって学習に参加できる。 		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 単眼鏡を使って、1分間に○文字程度、板書を読むことができる。 ② 分からない時や困った時に、自分から尋ねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単眼鏡のピント合わせについて、両手から片手で行えるよう、各教科等の学習でも練習する。 ・ 早く正確に板書を読むことができるように、電子黒板を使って漢字当てゲームをする。 ・ 「こんな時どうする」等のワークシートを使って、コミュニケーションの取り方の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：達成度○ ※前学期に比べ、正確に読むまでの時間が短縮された。 ②：達成度△ ※ワークシートの学習では、解決方法を発表できたが、日常生活に活かすことは十分ではなかった。他の学習時間に意図的な場面設定が必要である。
朝の会・帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ① 単眼鏡を使いながら、板書の内容を連絡帳に記入することができる。 ② 相手との距離に応じて声の大きさを調整して話することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡帳の記入内容を確認し、正しく記入できたことを誉める。 ・ 発表、質問する場面を設定する。その際、色々な距離から質問し、声の大きさの調整を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：達成度○ ※板書の内容を時間内に正しく記入することができた。 ②：達成度○ ※教師の声かけがあれば、相手との距離に応じて声の大きさの調整ができた。
交流学級での活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 見通しをもって学習や活動に参加することができる。 ② 分からない時や困った時に、教師や友達に話しかけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流学級で見通しをもって活動できるように、事前に作業や道具の使い方を練習する時間を設定する。 ・ 見えにくさを補うため、拡大資料の提供、具体的に明確な指示や説明をする。 ・ 見えやすさ、質問のしやすさを考慮して席の位置を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：達成度○ ※帰りの会終了後、短時間練習時間を設定したことで、見通しをもって活動できるようになった。次学期もこの練習を継続する。 ②：達成度△ ※交流学級では、自分から話しかけることが少なかった。交流学級の担任と連携し、分からない時や困った時に限定せず、挨拶等自分から話しかける素振りを見せた時も誉めて自信を持つことができるようにする。

理科	<p>知：乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解できる。</p> <p>思：電流の動きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>学：電流の動きについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決することができる。</p> <p>※(全：通常の学級と同じ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 説明内容を理解できるように、本人の側に実験装置や器具を提示して説明する。 検流計の目盛り等、見えにくいものは、ICT 機器で撮影しながら、拡大して確認するように促す。 	<p>知：達成度◎</p> <p>※回路図を用いて記録する等、観察、実験などの過程や得られた結果を分かりやすく記録できた。</p> <p>思：達成度○</p> <p>※ICT 機器で撮った写真を手掛かりに、結果を基に考察することができた。</p> <p>学：達成度○</p> <p>※学習前や予想段階での自分の考えを振り返り、実験結果や友達との交流を基に見直すことができた。</p>
体育	<p>知：ゴール型ゲームの行い方を知り、基本的な動きを身に付けることができる。</p> <p>思：ゴール型ゲームの楽しみ方を工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えることができる。</p> <p>学：運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p> <p>※(学：通常の学級と同じ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 見えにくさを補うため、音が鳴り、床の色に対してはっきり見える色のボールや大きな目印のあるゴールを準備する。 友達の動き等、見えにくいものは、目立つ色のゼッケンを使用して見えやすくするとともに、ICT 機器で写真や動画を撮り、確認する場面を設定する。 準備や後片付けでは、安全面に配慮した役割分担やメンバー構成とする。 	<p>知：達成度◎</p> <p>※ゆっくりとしたスピードのパスを受けたり、ゴールに向かってシュートをしたりすることができた。</p> <p>思：達成度△</p> <p>※考えたことや気付いたことを他者に伝えることが難しかった。チームでの作戦タイムの行い方を工夫する必要がある。</p> <p>学：達成度○</p> <p>※規則を守ったり、用具の準備や片付けを友達と一緒にしたりすることができた。</p>

記入例⑥

想定（中学校1年生）

*平均聴力レベルが60dB程度で補聴器を使用している生徒

*知的な遅れはないものの、語彙が少ない生徒

〔様式例3〕※特別支援学級用

個別の指導計画（1学期）

1年 青空学級 児童生徒名：〇〇 〇〇 〔障がい種：難聴〕（担任：□□ □□）	作成日：令和2年 5月 1日 更新日：令和2年 7月25日
--	----------------------------------

年間目標 (重点目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙力を増やし、コミュニケーションや教科等の学習を円滑にすることができる。 ○ 相手の話を正しく理解したり、自分の思いを分かりやすく伝えたりするために、場や状況に応じたコミュニケーション手段の活用や要求をすることができる。 ○ 必要に応じて補聴器の音量等を調整し、会話や活動をすることができる。 		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ① コミュニケーション手段の種類と特徴を理解し、活用をすることができる。 ② 補聴器の管理や適切な聞こえの状態に調整することができる。 	<p><自立活動の時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読話や筆談、タブレット、ジェスチャーなどを体験・活用する場を設定する。 ・ 様々な音量や音声に対して適切な補聴器の聞こえの状態を調整する活動を設定する。 <p><自立活動の時間外></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補聴器の状態や聞こえの状態を確認するため、朝の会を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：達成度○ ※読話の場面では、話し手の口元が見やすい位置に移動することができるようになった。 ※筆談やタブレットを活用して自分の考えを表現できるようになった。 ②：達成度◎ ※補聴器の音量等の調整や日頃の手入れを自分から率先してできるようになった。
交流学級での活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 必要に応じてFMマイクを渡すことができる。 ② 聞き取りにくい時は、「もう一度言ってください」「〇〇のように聞こえたけど、あっている」などの要求や確認をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初、交流学級の生徒に対して、本人への聞こえの状態等の理解を図る。 ・ 自立活動の時間に要求や確認の方法についてロールプレイ等を実施する活動を設定する。 ・ 躊躇している場合は、周囲の生徒に声掛けをしたり、本人に行動を促したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：達成度○ ※全体での説明やグループ学習などの場面で、教師、級友共にFMマイクを渡すことができるようになった。 ②：達成度△ ※級友や教師からの声かけがなければ、要求することができなかった。 ※自ら要求できるようにするための取組が必要。
国語	<p>知：事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことができる。 ※通常の学級と同じ。</p> <p>思：「読むこと」において、描写を基に、場面の展開や登場人物の相互関係を捉えたり、心情がどのように変化しているのかなどを把握したりすることができる。 ※通常の学級と同じ。</p> <p>学：粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもって新たに知った言葉を使うことができる。 ※通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象や行為、心情を表す語句についての経験の有無について実態を把握する。 ・ 経験がなかったり、言葉に置き換えられなかったりした心情表現については、気持ちに関する言葉集めやキーワードを使った活動など、朝の会等で体験できる場を設定する。 ・ 文章に表れている心情やその変化が分かるように、心情の移り変わりが分かる文章中のキーワードを示したり、心情の変化を曲線で表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 知：達成度○ ※事象や行為、心情を表す語句が増え、スピーチや作文などで使うことができるようになった。 思：達成度○ ※キーワードを基に登場人物の心情の変化を把握できるようになった。 学：達成度○ ※新しく獲得した言葉を積極的に活用しようとする姿が見られた。

<p>音楽</p>	<p>知：曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かし、視覚化された各声部の声や音などの情報を参考にしながら、他者と合わせて歌ったり演奏したりすることができる。</p> <p>思：音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱や器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>※通常の学級と同じ。</p> <p>学：音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現の学習活動に取り組むことができる。</p> <p>※通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ICTによる拡大した楽譜や歌詞を提示し、歌唱や演奏している箇所が分かるように色付けや指さし等で示す。 リズムや音の強弱などの音楽の要素をつかむことが難しい場合は、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどの動作化をするとともに、楽譜に記号等で視覚化する。 友達の演奏する指先が見やすい座席など座る位置を配慮する。 	<p>知：達成度○</p> <p>※音楽の構造を理解することができた。</p> <p>※視覚化された情報を基に級友と合わせて合唱や演奏をすることができた。</p> <p>思：達成度△</p> <p>※表現したい思いや意図などはもっているが、リズムや音の強弱をパターン化した表現にとどまっている。</p> <p>※音楽の要素をつかませるための動作化が、決められた動きのパターンを習得する活動とならない工夫が必要。</p> <p>学：達成度◎</p> <p>※自ら進んで級友にタイミングを教えてもらうと共に、視覚情報等を活用しながら合唱や演奏に取り組む姿が見られた。</p>
<p>外国語</p>	<p>※「聞くこと」に関する目標</p> <p>知：canの特徴やきまりに関することを理解し、ゆっくりはっきり話される教科書の登場人物や級友の自己紹介スピーチの内容を聞き取ることができる。</p> <p>思：ゆっくりはっきり話される教科書の登場人物や級友の自己紹介スピーチから好きな言葉が何で、理由は何かなどの要点を聞き取ることができる。</p> <p>学：ゆっくりはっきりと話し手に話してもらうことを要求しながら、英語で話されることを聞くことができる。</p> <p>※「聞くこと」以外の項目は、通常の学級と同じ。</p>	<p><特別支援学級での指導></p> <ul style="list-style-type: none"> 対話支援機器の活用とともに、口形に注目させながら、ゆっくりはっきり何度も発音する。 聞き取りが難しい場所は、カタカナでの読み方を示す。また、繰り返す中で徐々にカタカナ表示を減らす。 口形を意識した発音練習の場を設定する。 <p><交流学級での指導></p> <ul style="list-style-type: none"> 教師や級友の口元が見やすい座席や班づくりをする。 聞き取りが難しい言葉は、フラッシュカードやプレゼンテーションソフトなどを使用して視覚化して示す。 交流学級の生徒には、要求があった場合のみ「ゆっくりはっきり話す」よう共通理解を図る。 	<p>知：達成度○</p> <p>※canの特徴や決まりを理解することができた。</p> <p>※ゆっくりはっきり話されたスピーチは、聞き取れるようになった。</p> <p>思：達成度○</p> <p>※スピーチから好きなことやその理由などの要点を聞き取れるようになってきた。</p> <p>学：達成度△</p> <p>※教師や級友からの確認がなければ、要求することができなかった。</p> <p>※自ら級友にゆっくり話してもらうよう要求する取組が必要。</p>
<p>その他の教科</p>	<p>① 教科学習で出てくる新出語句を理解して覚えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自学ノートへの記入やフラッシュカードで定着を図る。 視覚的に情報を提示（話のテーマやキーワード）したり、説明の際は口元が見えるようにしたりする。 発問は「簡潔に分かりやすく」を心掛ける。 	<p>①：達成度○</p> <p>※家庭学習と関連させた自学ノートを活用したことで、新出語句を理解できるようになった。</p>

記入例⑦

想定（小学校3年生）

- *知的障がいのない肢体不自由の児童
- *見ることよりも、聞くことや言葉にすることが得意である。
- *交流学級での学習
社会、理科、道徳科、外国語活動、総合、特活（音楽、図工、体育は、一部交流）

〔様式例3〕※特別支援学級用

個別の指導計画

3年 こすもす学級 児童生徒名：○○

〔障がい種：肢体不自由〕（担任：□□ □□）

更新日：令和2年 7月20日

年間目標 (重点目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手や場面、状況に応じて、自分の考えや思いを伝えることができる。 ○ 身体各部位の筋緊張を適切に調整して、座位や立位を保持したり、安全に歩行したりすることができる。 		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ①ゲームの内容やルールを理解し、適切な言葉や行動で友達と関わることができる。(すごろく遊び) ②体幹を保持した姿勢を保つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場に応じた言動を身に付けることができるように、行動の仕方を短い文章にして読むようにしたり、適切な例を示したりする。 ・ 過度な筋緊張を弛めることができるように、学習の始めにストレッチを取り入れる。 ・ 安定した座位を保持することができるように、あぐら座位で腰を立てたり、机上の玩具を両手で操作したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①：達成度○ ※場に応じた行動を視覚的に示すことによって、意識して正しく行動することが増えてきた。 ②：達成度○ ※毎時間、学習の始めにストレッチを取り入れたことにより、リラックスして学習に臨むことができた。 ※まっすぐなあぐら座位を保持しながら、机上でキーボードを操作することができた。
算数	<p>知：3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算を基にしてできていることを理解することができる。</p> <p>思：既習の2位数の計算の仕方をもとに、3位数や4位数の筆算の仕方を考えることができる。</p> <p>学：筆算のよさがわかり、進んで活用しようとする。 ※全て通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆算の仕方を想起できるように、既習事項の2位数の加法の筆算を提示する。 ・ 桁をそろえて書くことができるように、ます目を大きくしたワークシートを準備する。 ・ 筆算の計算の順序を想起できるように、計算の順番表(カード)を手元に置くようにする。 ・ 筆算の順番を覚えることができるように「たして」「あげて」など計算の順序を唱え歌にする。 	<p>知：達成度○ ※3位数+3位数で、一の位が繰り上がる筆算ができた。 2回繰り上がる筆算は、間違えることがあった。</p> <p>思：達成度○ ※既習の筆算の仕方をもとに、2回繰り上がる筆算の仕方を考えたり説明したりすることができた。</p> <p>学：達成度○ ※既習の筆算の仕方をもとに、3位数のひき算の筆算の仕方を考えようとしていた。</p>
国語	<p>知：文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。</p> <p>思：登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。</p> <p>学：進んで登場人物の行動や気持ちを捉え、学習課題に沿って、読んで想像したことを伝え合おうとしている。 ※全て通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の内容を想像することができるように、登場人物や場面の様子を、絵や映像で提示する。 ・ 人物の気持ちができる部分に線を引くよう促す。 ・ 動物たちの気持ちを想像することができるように、動物の絵カードや気持ちのカードを提示し、友達との意見交流の時間を設定する。 	<p>知：達成度○ ※声の強弱や速さ、高さや間のと리카たを工夫しながら音読することができた。</p> <p>思：達成度○ ※登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができた。</p> <p>学：達成度○ ※進んで登場人物の気持ちを捉え、読んで想像したことを伝え合うことができた。</p>

<p>体育</p>	<p>知：ゲームのルールを理解し、状況に応じたボールの操作を工夫し、転がしサッカーをすることができる。</p> <p>思：楽しくゲームができるように作戦を考え、友達に伝えることができる。</p> <p>学：ゲームに進んで取り組み、用具の準備や片づけを進んでしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのルールを理解することができるように、教師がまず示範を見せたり、コートやボールを図で表し、ルールを文字カードにして提示したりする。 自分たちのプレーを振り返ることができるように、タブレット端末で録画した映像を確認する。 準備や片づけをしやすいように、ボールを入れる箱を浅くし、低い位置に設置する。 	<p>知：達成度◎ ※パスを受けやすく、相手のいないところに尻這いで移動することができた。 ※ルールを理解し、味方をよく見てボールを転がすことができた。</p> <p>思：達成度○ ※タブレット端末で自分たちのプレーを確認し、相手のいないところに移動するなどの作戦を考えることができた。</p> <p>学：達成度◎ ※授業が始まると同時に、進んでボールや三角コーンを準備することができた。</p>
<p>音楽</p>	<p>知：思いや意図に合った表現をするために必要な音色や響きに気を付け、リコーダーを演奏することができる。</p> <p>思：音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取ることができる。 曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。</p> <p>学：リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ※通常の学級と同じ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思いや意図に合った表現をすることができるように、曲から感じたことを文字カードにして視覚的に示したり言語化したりする。曲の情景をイメージすることができるように、視聴覚教材を提示する。 リコーダーの穴をふさぐことができるように、穴の周りに厚みのある丸穴シールを貼る。 曲の特徴を捉え、表現することができるように、特徴をキーワードにして提示する。 曲の特徴をイメージすることができるように、動作化して示す。 	<p>知：達成度△ ※リコーダーの音色と教材曲の演奏の仕方との関わりに気付くことができたが、音を合わせてリコーダーを演奏することは難しかった。</p> <p>思：達成度○ ※音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら聴くことができた。</p> <p>学：達成度◎ ※リコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組むことができた。</p>
<p>朝の会・帰りの会</p>	<p>①日課について理解し、クラスの友達に正しく伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「朝の会」で「1分間スピーチ」や「今日の給食」などの伝える場面を設定する。 伝えたいことを適切な言葉で伝えることができるように、キーワードを書いたホワイトボードを手元に置いておく。 帰りの会で、頑張ったことや楽しかったことを発表する場面を設定する。 	<p>①：達成度△ ※「今日の給食」など、決まった内容を伝えることはできたが、「1分間スピーチ」などのように自由に発表することは難しかった。 ※楽しかったことや頑張ったことは一人で発表することができた。</p>
<p>交流学級での活動</p>	<p>①交流学級での学習で、自分の考えたことを言葉で伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動の時間に、自分の好きな遊びを伝えたり、ルールを伝えたりする活動を行う。 交流学級と連携し、場面や状況に応じた話型カードを提示する。 	<p>①：達成度○ ※自分の好きな遊びを伝えることはできたが、質問に答えることは難しかった。 ※話型カードを見ることで、自分の気持ちを伝えることができた。</p>

記入例⑧

想定（小学校5年生）

*喘息の発作の状態によっては短期入院が必要な児童

*交流学級での学習

特別の教科 道徳、特活、給食、清掃

〔様式例3〕※特別支援学級用

個別の指導計画（1学期）

5年 つつじ学級 〔障がい種：病弱（喘息）〕	児童名：○○ ○○ (担任：□□ □□)	作成日：令和3年 5月 9日 更新日：令和3年 7月18日
---------------------------	--------------------------	----------------------------------

年間目標 (重点目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ピークフローメーターの使用方法を習得し、ピークフロー値の測定とぜんそく日誌の記録、腹式呼吸を続け、自己管理能力を高めることができる。 ○ ピークフロー値が高く安定しているときは、進んで好きな運動をすることができる。 ○ タブレット端末等を活用して、学んだことを更に調べたり、習熟を図ろうとしたりすることができる。 		
教科等・場面	学期目標	指導・支援の方法	目標の達成度・支援の評価
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ① ぜんそく日誌（睡眠時間、薬の使用状況、日常生活の様子）を毎日書くことができる。 ② ピークフロー値のグラフの波形から、自分の状態を把握し、小発作が起きる条件に気付くことができる。 ③ 安定して腹式呼吸ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習慣化することができるように、記入の時間を帯で設定する。 ・ これからの活動で気を付けることを判断できるようにするために、グラフにぜんそく日誌の情報を付加し、波形全体に着目できるようにする。(自立活動の時間における指導) ・ 安定した腹式呼吸ができるようにするために、リコーダーを活用する。 ・ 8種類の体幹トレーニングメニューを段階的に行う。(毎時間、始めの15分間に帯で実施) ※変更：体調を考慮して、4種類の中から2種類を選択し、5分間行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①達成度△ ※取り組み始めて1か月ほどは毎日意識的に書くことができたが、6月頃から睡眠時間の計測があいまいになった。書くことのみを目標とせず、日誌の活用に目標を変えていく。 ②達成度○ ※小発作のあった日の前後数日の情報から、軽いかぜ症状があってもピークフロー値が高く出る場合もあったことに気付くことができた。 ③達成度△ ※2週間の入院期間があったため、できる時期とできない時期があった。1セットのメニューを柔軟にできるよう、再検討・再構成する必要がある。 ※指導・支援の方法変更
体育 ※保健以外	<p>知：ネット型ボール運動、器械運動、体づくり運動、水泳運動の楽しさや喜びを味わい、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を知ることができる。 ※通常の学級と同じ</p> <p>思：自己やグループの運動の課題を見付け、その解決のための方法を考えて他者に伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種運動のイメージをもつことができるように、VR教材を活用する。 ・ 自己やグループの課題に気づきやすくするために、タブレット端末のカメラ機能を活用する。 	<p>知：達成度△ ※楽しさを知ることはできたが、ネット型ボール運動は、イメージを捉えることが難しかったため、2学期は視点を決めて運動を観察する活動を仕組む。</p> <p>思：達成度◎ ※自分の運動の様子をビデオで確かめることができた。 Web 会議システムを活用し</p>

	<p>※通常の学級と同じ</p> <p>学：場や用具の安全に留意し、体調を考慮しながら運動をすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交流及び共同学習においては、Web カメラを活用し、友達と交流ができるようにする。 授業開始時と終了時に体調確認の時間を設ける。 	<p>て、友達のをさを伝えることができた。</p> <p>学：達成度◎ ※VR 教材から、運動量の情報を得るとともにピークフロ一値からどの程度まで取り組むかを自分で考えることができた。</p>
家庭	<p>知：日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。 ※通常の学級と同じ</p> <p>思：各種の実習を、自身の体調を考慮しながらできることに取り組み、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決することができる。</p> <p>学：生活の大切さをとらえ、家族との関わりを考えながら、生活をよりよくしようと工夫することができる。 ※通常の学級と同じ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書等を参考にした一般的な家庭生活に加え、自身の健康の状態に配慮した保護者の取組を聞き取り、資料として活用する。 調理実習においては基本的に交流及び共同学習で行い、煙を伴う可能性がある調理場面においては Web カメラを活用して、別室から友達と交流することができるようにする。 実習を実施する上で、フェイスシールドや防護服等を活用し、埃を吸い込みにくい環境を整える。 	<p>知：達成度◎ ※保護者の自分に対する日頃の配慮が明らかになったことで、換気の必要性について特に詳しく理解することができた。</p> <p>思：達成度○ ※Web カメラの活用があったことで、一連の実習をグループで共有することができ、改善策を述べることができた。</p> <p>学：達成度○ ※フェイスシールド等に対する周知が広まったこともあり、自ら着用し、防ぐという意識が芽生えてきた。</p>
算数 ※一部の 単元	<p>【「体積」「小数の掛け算」について】</p> <p>知：面積と体積、小数×整数、小数×小数の意味をとらえ違いを理解することができる。 ※通常の学級と同じ</p> <p>思：数や図形概念や性質等に着目し、面積や体積の求め方や小数の掛け算の仕方を考えている。 ※通常の学級と同じ</p> <p>学：進んで数や図形を調べようしたり、学習したことを生活や学習に活用しようしたりしている。 ※通常の学級と同じ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「体積」「小数の掛け算」の単元では、第4学年「面積」「小数と整数の掛け算」と合わせて指導する（前年度からの引継ぎ事項：小4時の入院期間単元で未修のため）。 数の量感をつかむことができるように、パソコンを活用する。 	<p>知：達成度○ ※図形の求積や小数の掛け算では、計算によって何を知らろうとしているのかをとらえることができた。</p> <p>思：達成度◎ ※数の量感をつかむことができたので、計算の結果と見通しとのずれに気付き、計算をし直すことができた。</p> <p>学：達成度△ ※2学期は、生活や様々な教科等の中で学びを生かせる部分について把握しておき、意図的に生かせる事象を提示する。</p>
学校行事 (屋外での 活動場面)	<p>① 事前学習において屋外での活動イメージをもち、当日の参加の仕方について自分の体調から考えたり判断したりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遠足のコースのアップダウンを確認できるように、Web 上の3D地図を活用する。 	<p>①達成度○ ※遠足コースの地形と4年生での経験を基に、往路のみ歩くという方法を自分で選択することができた。</p>

<p>清掃時間</p>	<p>① 縦割り清掃において、高学年としてリーダーシップを発揮し、清掃の指示を出すことができる。</p> <p>② 埃の立ちにくい清掃の仕方を下学年児童に伝えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内で埃が少ないであろう場所を選定し、清掃場所の選択肢を広げる。 ・ フェイスシールドを用意し効果のある着用方法を提示する。 	<p>①達成度○ ※掃除はじめと終わりの会にて、めあてと振り返りを的確に述べる事ができた。</p> <p>②達成度○ ※家庭科での学びを生かした清掃のポイントを示す事ができた。</p>
<p>休み時間</p>	<p>① 体調のよい日は、できるだけ好きな運動をすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の会、自立活動の時間、給食時に体調を確認し、給食の後、休み時間の過ごし方を話し合う。 	<p>①達成度：○ ※ピークフロー値を基に、過ごし方を自分で決める事ができた。</p>